



**ゴキブリの侵入を防ぐ  
エアコン対策法**

はじめまして。  
波戸本香織と申します。

京都市内に住む26歳のママです。  
1歳の娘の世話と13匹の猫のお世話で  
大変な毎日を過ごしています。

ウチはずっとゴキブリ（名前をクチにするのもイヤですが）に  
悩まされ続けていて、やっと撃退することができました。

このレポートでは皆さんからよく質問される、  
エアコンのゴキブリ対策法のご紹介したいと思います。

エアコンのゴキブリ対策は次の通りになります。

- ・ エアコンを知る
- ・ 道具を用意する
- ・ 道具をエアコンに設置する
- ・ エアコンからヤツらを追い出す

です。

それでは、ひとつずつご説明します。

## 【エアコンを知る】

まず私は専門の業者でもなく、エアコンのメーカーでもなく、普通の一般市民の主婦です。  
エアコンに関する専門の知識もありません。

設備関係の仕事をしている方から聞いたこと、私なりの経験を元にしてまとめおります。

エアコンの構造上、屋外の排水管等からGが侵入し、エアコンを通じて部屋の中に入るということはエアコンメーカーのお話では『**ほとんどないです**』とのことでした。

知り合いの設備屋さんにも聞いてみましたが、『**滅多にない**』とのことでした。

私自身、屋外の排水管にGが侵入し、部屋の中のエアコンから侵入したGが出てきたという場面は目撃してことはありません。

しかし、エアコンからGがポトッと落ちてきたという話はよく耳にします。

考えられることは2通りです。

- ・ Gが屋外の排水管からエアコンに侵入した
- ・ もともと部屋の中にいるGがエアコンに隠れた

先ほどの、メーカーさん、設備屋さんのお話でもあるように屋外からの侵入説は非常に低い確率のようです。

しかし、『ほとんど』『滅多に』という表現はとても曖昧な表現といえます。

**『絶対に侵入することはありません!!!』**

自信を持ってそう言ってくれないのが現状。  
つまり、『侵入するかもしれない』ということになります。

そんなこと言われると、「外から侵入したらどうしよう・・・」と不安になってしまうのが人間です。

入ってくる確率も低いし、侵入するかどうかはわからないけど、もしも、入って来たら嫌だ。

そう思う方はぜひ、実践してみてくださいね。

**※おことわり**

**このG対策はエアコンの室外機が手の届かない場所にある場合は実践できませんのでご了承ください。**

では、エアコンG対策に必要な道具をご紹介します。

## 【道具を用意する】



上の画像は生ゴミ用水切りネットです。

キッチンの三角コーナーや、排水溝の生ゴミ用バケツに装着するものです。

口の部分にゴムが入っており、ストッキングのような薄く、柔らかく、目の細かいものです。

100円ショップなどでも売られています。  
購入するときは「ストッキングタイプ」などという表示のものが良いです。

あとはビニール紐とビニールテープをご用意ください。

道具は以上です。

え？これだけ？

そうなんです（笑）

では早速やり方です。

## 【道具をエアコンに設置する】

まず、あなたの家にあるエアコンの室外機を見てください。  
エアコンの配管をたどっていけばすぐにわかります。

そして、室外機の下の方に排水を流す管があります。



ここから排水が外に流れるという部分です。

つまり、この部分から管の中に入ると  
部屋の中のエアコンにまで繋がっているということです。

前にも言いましたが、管を通してエアコンの機械の中にまで  
確実に侵入できるとは限りませんが、繋がっていることは確かです。

では、この排水管にGが入れないようにするには  
排水管を塞いでしまうこと。

テープを張ったり、物を詰めてしまうと、  
排水が流れなくなってしまうので絶対にやめてくださいね。

では先ほど用意した水切りネットをこの排水溝にかぶせます。



少し分かりづらいですが、水切りネットをかぶせました。

そして、ネットの口を紐などでしばり、その上からビニールテープではがれないようにぐるぐる巻きにして止めます。

輪ゴムを使うと、劣化してすぐにちぎれてしまいます。  
テープだけだと、粘着力が衰えたときにはがれてしまいます。

なので、ビニール製の紐でくくり、その上から  
ビニールテープでぐるぐる巻きに固定してくださいね。

これで、屋外から侵入してくることはないはずです。

次に、部屋にいたGがエアコンに隠れていた場合の対策です。

## 【エアコンから追い出す】

Gがエアコンからポトッと落ちてきたのを目撃した場合など、エアコンの中にGが潜んでいる時に効果があります。

Gがエアコンにいない場合は何も効果がありません。

エアコンの中に居たら嫌だな・・・と思う方は、もしも居た場合、駆除できるので試してみる価値はあります。

何度もエアコンからGが落ちてくるのを目撃される場合はエアコンクリーニングをするか、エアコンを買い換えるかが一番手っ取り早いです。

しかし、高額なので、なかなかできないものです。そこで、自分でできるG対策としましてはエアコン内からGを追い出すという作戦です。

使用する道具はこれ！



ゴキジェットプロです。

隙間ノズルもついているので細い隙間にも噴射できます。

### ※おことわり

**エアコンに向かって噴射することは少なからず、  
エアコンに対してダメージを与えてしまい、故障の原因になります。**

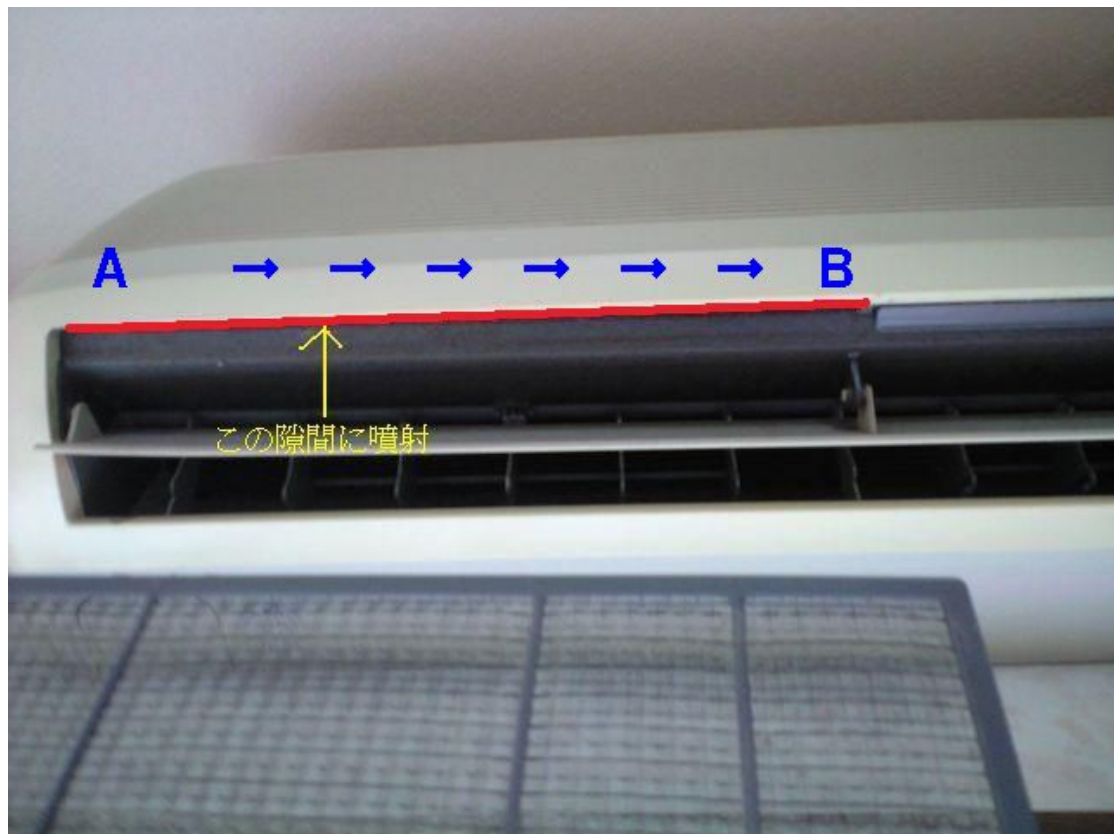
**この方法でエアコンが故障した場合、責任を負いかねますので  
ご自分の判断の上、行ってください。**

まず、エアコンの下にある物はどけてから行ってください。  
そして、窓を開け、換気を良くしてから行いましょう。

エアコン内にGが居た場合、急に暴れて出てくる  
可能性がありますので注意してくださいね。

まず、エアコンのフィルターを全部はずします。  
ほとんどのエアコンの場合、フィルターは2枚あります。

そして、フィルターの入っていた隙間に向かって  
Gジェットをスプレーします。



A地点からB地点まで、直線を描くように噴射します。

何十秒も大量に噴射する必要はありませんし、  
噴射量が多すぎると故障の確率が高くなります。

**AからBまでの直線を描くのにスプレーのノズルを  
押している時間は約3～4秒程度とお考えください。**

もう片方のフィルター部分にも同じように噴射します。

フィルターは掃除機できちんとホコリを取り、水洗いします。  
その後、レモン汁を噴射し、完全に乾かします。

(湿ったまま、フィルターを装着しないでください)

次に、エアコンの表面に掃除機をかけ、Gジェットを噴射します。

この時の掃除機の役割はホコリを吸うことであり、Gジェットを噴射した際に噴射力でホコリをエアコン内部に飛ばさないためです。



噴射し終わったら、レモン汁を含ませた雑巾などでエアコンを拭いてください。

フィルターが乾いたら装着し、完了です。

先ほども言いましたが、エアコンは精密機器です。Gジェットを内部まで噴射しすぎると故障の原因になります。

エアコン内部にGが潜んでいた場合、この程度の噴射でも十分に効果はあります。

考えてみてください。Gジェットをシュッとひと噴きでもかかったGはどうなるでしょう？

苦しくて暴れまくりです。

エアコン内部で息絶えると逆に死骸の処理に困るので、あくまでも、エアコンから追い出すためのGジェットとお考えくださいね。

もちろん、エアコンから出てきたGには容赦なくスプレーして退治してくださいね。

以上で、エアコンG対策は終わりです。

ご紹介した殺虫剤についてご不明な点は、是非お問い合わせくださいね。

■メールアドレス

[info@goki171.com](mailto:info@goki171.com)

■ブログ

<http://goki171.com/blog/>

■mixi

[http://mixi.jp/show\\_friend.pl?id=10509704](http://mixi.jp/show_friend.pl?id=10509704)

波戸本 香織